

とちあいかにおけるクラウン部冷却の有無が生 育、収量、品質に及ぼす影響

要約

普通夜冷、無処理作型ともに、定植後のクラウン部冷却処理により、一次腋花房の花芽分化が早まり、花房間葉数も1枚程度減少することが確認できた。一方で、今作の生育収量および品質については、両作型ともに定植後のクラウン部冷却処理による差は見られなかった。

○ 展示のねらい

とちあいかは、頂花房の着果数が少なく、頂花房と一次腋花房との間で中休みが発生する傾向がある。そこで、普通夜冷、無処理作型においてクラウン部冷却が花房の連続性および障害果である先つまり果、先青果、先白果の発生に及ぼす影響を検証する。

- 供試区1：クラウン部冷却有（普通夜冷作型） ■ 供試区2：クラウン部冷却有（無処理作型）
 ■ 対照区1：クラウン部冷却無（普通夜冷作型） ■ 対照区2：クラウン部冷却無（無処理作型）

○ 主な成果

- ・頂花房から一次腋花房までの花房間葉数は、両作型ともに、冷却区の方が対照区より1枚程度少なかった（表1）
- ・11月、5月の収量は無処理・対照区で最も多かったが、年内収量、総収量ともに処理区による大きな差はなかった（表2）

表1 花房間葉数

処理	花房間葉数(枚)					
	～頂花	頂～一次	一次～二次	二次～三次	三次～四次	四次～五次
夜冷・冷却区	3.3	4.2	4.2	3.7	4.2	2.8
夜冷・対照区	3.2	5.7	4.8	4.6	3.7	3.7
(冷却-対照)	0.1	-1.5	-0.6	-0.9	0.5	-0.9
無処理・冷却区	3.8	4.0	4.5	4.2	4.1	3.3
無処理・対照区	3.5	5.1	3.9	5.4	3.6	-
(冷却-対照)	0.3	-1.1	0.6	-1.2	0.5	-

*無処理・対照区の四次～五次は五次腋花房が出蓄しなかったため、一で示す。

表2 月別収量

処理区	収量 (kg/10a)								
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年内収量	合計
夜冷・冷却区	502	741	1,618	1,690	1,965	1,366	804	1,243	8,685
夜冷・対照区	529	721	1,591	1,692	2,298	1,280	750	1,250	8,861
無処理・冷却区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無処理・対照区	602	691	1,471	1,525	2,429	1,304	923	1,293	8,944

○ 今後の方向性

クラウン部冷却処理の終了のタイミングについては、葉の展開速度が遅くなる等の懸念があるため、花芽検鏡により一次腋花房分化確認後なるべく早く終了する。

マルチ前の追肥は、一次腋花房での先つまり果発生への懸念があるため、追肥は収穫開始後から行う。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：真岡市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315